

# 図書館だより

## ねりまのブックスタート10周年



練馬区のブックスタート事業が平成14年に始まってから10年が経ちました。

今年度は、10周年を記念して、各館でいろいろな催しを行っています。

### ブックスタート事業とは…

絵本を通して親子のふれあいを深めていただくこと始まった事業です。絵本をお渡しするほか、地域の子育て情報をお知らせしたり、わらべうたや手遊びを楽しんだりして、子育てを応援しています。

10周年を記念して各館で写真やパネルを使った展示やよみきかせなどの楽しい催しを行いました。

春日町図書館で4/24(火)～5/27(日)、光が丘図書館で7/24(火)～8/26(日)、練馬図書館で8/21(火)～9/2(日)、南大泉図書館で5/29(火)～9/3(月)、貫井図書館で9/29(土)、石神井図書館で9/19(水)～10/21(日)に行いました。

今後も、各館で楽しい催しを企画しています。(主な催しは右表のとおり)

### 各館の催し

図書館	催しの内容・期間
関町図書館 ☎3929-5391	ブックスタート事業の紹介と絵本の展示 10/23(火)～11/25(日)
平和台図書館 ☎3931-9581	ブックスタートの様子などのパネル展示 10/23(火)～11/25(日)
小竹図書館 ☎5995-1121	配付した絵本とわらべうたの展示・紹介 12/1(土)～12/20(木)

### 記念事業

平成25年2月には、児童文学者の松居直先生を招いて区役所本庁舎多目的会議室でシンポジウムを開催するほか、区役所1階アトリウムでパネル展示を行う予定です。

### 目次

- \* ねりまのブックスタート10周年…………… 1ページ
- \* 読書週間  
練馬区立図書館での催し案内…………… 2～3ページ
- \* 文学賞がいっぱい…………… 4～5ページ
- \* 区立図書館の自慢話…………… 6ページ

- \* 図書館職員おすすめの一冊…………… 7ページ
- \* 練馬区立図書館50周年  
数字でみる昔と今…………… 7ページ
- \* 図書館の活用方法…………… 8ページ
- \* 図書館でのマナー…………… 8ページ
- \* 図書館からのお知らせ…………… 8ページ

## 読書週間(10月27日～11月9日)

## 練馬区立図書館での催し案内

読書週間に合わせていろいろな催しものを計画しています。

また、読書週間に降も楽しい事業を予定していますのでお気軽においでください。

なお、事業によっては事前の申し込みが必要な場合があります。詳しくは各図書館にお問い合わせください。

## ●光が丘図書館 03-5383-6500

## 懇談会

◆図書館利用者と光が丘図書館長との懇談会  
「これからの図書館サービスのあり方」  
11月3日(祝) 14時30分～16時  
申込：当日会場受付

クロス  
シアター

◆クロスシアターの上演と布の絵本展示  
11月3日(祝) 13時～14時  
定員：50名  
申込：当日会場受付

手作り  
教室

◆ブックカバーとしおりの作製  
11月3日(祝) 10時～11時30分  
13時～14時  
定員：各回25名  
申込：当日会場受付

## 展示

〈モール展示〉私たちの選択・エネルギーを考える  
10月30日(火)～11月25日(日)  
〈図書館利用者作品展示〉さくら俳句会  
11月2日(金)～11月9日(金)

## ●関町図書館 03-3929-5391

## 講演会

◆関町図書館開館30周年記念講演会  
「子供と向き合う～小学校長14年間の体験から～」  
11月24日(土) 14時～15時  
講師：練馬区青少年育成指導員  
江原要七 氏  
定員：30名  
申込：当日会場受付

おたの  
しみ会

◆冬のおたのしみ会  
人形劇と大型絵本の読み聞かせほか  
12月1日(土) 14時～16時  
定員：40名  
申込：当日会場受付

## ●貫井図書館 03-3577-1831

手作り  
教室

◆ちひろの水彩技法体験  
にじみのしおり作り  
10月27日(土) 14時～16時  
定員：20名  
申込：10月5日から申込順

## ●春日町図書館 03-5241-1311

## 人形劇

◆人形劇団ブーク公演  
「ねずみくんのチョコキ」ほか  
10月27日(土) 13時～14時  
定員：70名  
申込：当日会場受付

ワーク  
ショップ

◆スカーフ人形をつくってみよう  
10月27日(土) 14時15分～15時45分  
講師：人形劇団ブーク団員  
定員：20名  
申込：10月13日から申込順

おたの  
しみ会

◆冬のお楽しみ会  
12月2日(日) 14時30分～15時15分  
定員：50名  
申込：当日会場受付

知的書  
評合戦

◆ビブリオバトル  
12月8日(土) 14時～15時30分  
定員：発表5名、観覧50名  
申込：発表者は11月20日から申込順  
観覧者は当日会場受付

## ●大泉図書館 03-3921-0991

おたの  
しみ会

◆秋のコンサート  
～親子で楽しむリコーダーアンサンブル  
10月27日(土) 13時～14時30分  
演奏者：向江昭雅 氏 ほか  
定員：50名  
申込：10月11日から申込順

## 講演会

◆練馬区立図書館50周年記念  
「わが町に図書館ができた！  
～大泉図書館はじめて物語～」  
11月11日(日) 14時～15時  
講師：大澤正雄 氏  
定員：50名  
申込：当日会場受付

おたの  
しみ会

◆冬のお楽しみ会  
手品、人形劇、手遊びなど  
12月2日(日) 14時～15時  
定員：50名  
申込：当日会場受付

## ●練馬図書館 03-3992-1580

ブック  
トーク

- ◆ブックトーク  
50冊の中から選んで図書館員が行います  
11月4日(日) 14時～15時  
定員：20名  
申込：当日会場受付

体験  
教室

- ◆フィルムカバーかけ体験&資料分類説明  
11月3日(祝) 1回目10時～11時30分  
2回目15時～16時30分  
定員：各回10名(抽選)  
申込：10月9日から25日まで受付

館内  
ツアー

- ◆図書館見学ツアー  
普段見ることのできない閉架書架等を見学  
11月3日(祝) 13時～14時  
11月4日(日) 10時～11時  
定員：各回10名(抽選)  
申込：10月9日から25日まで受付

## 展示

- 開館50周年記念事業  
10月30日(火)～11月25日(日)  
◇写真が語る練馬図書館とその周辺の風景  
～50年の歩みパネル展示～  
◇50周年50冊  
～練馬図書館職員お薦めの50冊～  
◇え!こんな本があったの  
知らせざる蔵書を紹介

## ●石神井図書館 03-3995-2230

## 展示

- 私のお薦めの1冊!  
10月23日(火)～11月18日(日)  
檀一雄生誕100周年展  
11月27日(火)～12月20日(木)

## ●小竹図書館 03-5995-1121

手作り  
広場

- ◆手作りブックカバー&しおりを作ろう  
11月10日(土) 10時～15時  
(受付：14時30分まで)  
申込：当日会場受付

## 展示

- 友好都市イブスウィッチ市(オーストラリア)  
からの寄贈図書  
10月23日(火)～11月25日(日)

## ●平和台図書館 03-3931-9581

おたの  
しみ会

- ◆パネルシアター  
12月9日(日) 14時～15時  
公演：ぴーかぶー  
定員：80名  
申込：当日会場受付

## ●南田中図書館 03-5393-2411

館内  
ツアー

- ◆図書館内ツアー  
ゲームを通してラベルの秘密を楽しく  
紹介します  
11月10日(土) 13時30分～15時  
定員：5組  
申込：10月10日から申込順

読書会

- ◆読み継がれてきた本・そして今読ま  
れている本  
11月11日(日) 14時～16時  
定員：15名  
申込：10月1日から申込順

人形劇

- ◆人形劇団ブーク公演  
「ねぎぼうずのあさたろう」と  
「ピーターとおおかみ」の2本立て  
11月18日(日) 14時～15時30分  
会場：南田中小学校 体育館  
定員：100名  
申込：11月1日から申込順

講演会

- ◆石神井城と照姫伝説  
12月1日(土) 14時～15時30分  
講師：郷土史家 葛城明彦 氏  
定員：40名  
申込：11月11日から申込順

## 展示

- 読み継がれてきた本・そして今読まれている本  
10月18日(木)～11月18日(日)

## ●稲荷山図書館 03-3921-4641

## 展示

- 「読書川柳」募集します!  
10月23日(火)～11月11日(日)  
\*「読書川柳」の募集と展示  
\*川柳に関する資料の展示

## ●南大泉図書館 03-5387-3600

現在休館中のため、催し等の事業はありません。

# 文学賞 がいっぱい!!

2012年の芥川賞は「鹿島田真希『冥土めぐり』」直木賞は「辻村深月『鍵のない夢を見る』」の受賞が発表になりました。他にも世の中には300を超える文学賞があるんですって!そんな沢山の賞の一部を、この図書館だより20号にちなんでそれぞれの賞の『20回目の受賞作品』とともにご紹介いたします。みなさんご存知な賞はありましたか?新しい本と出会うきっかけにさせていただけたらな…と選んでみました。

## ● 児童書

文学賞	受賞年	作品	受賞者
野間児童文芸賞	1982(S57)	児童向けノンフィクション 遠い野ばらの村	安房直子(文)・味戸ケイコ(絵)
野間児童文芸新人賞	1982(S57)	かれ草色の風をありがとう	伊沢由美子
		ハッピーバースデー	さとうまきこ
講談社出版文化賞 絵本賞	1989(H1)	ゆうたくんちのいばりいぬ	きたやまようこ
		さばくのきょうりゅう	田島伸二(文)、康禹鉉(絵)
赤い鳥文学賞 児童文学賞	1990(H2)	見えない絵本	長谷川集平
新美南吉児童文学賞	2001(H13)	ガラスのうま	征矢清
坪田譲治文学賞	2004(H16)	ペーターという名のオオカミ	那須田淳
棕鳩十児童文学賞	2010(H22)	ぼくとあいつのラストラン	佐々木ひとみ

児童文学の「登龍門」→小川未明文学賞

## ● 一般書

芥川賞	純文学の新人賞	1944(S19)	雁立	清水基吉
直木賞	無名・新人及び中堅作家による大衆小説作品に与えられる文学賞	1944(S19)	該当作品なし	
野間文芸賞		1967(S42)	好きな女の胸飾り	舟橋聖一
江戸川乱歩賞		1974(S49)	暗黒告知	小林久三
女流文学賞		1981(S56)	石路の花	広津桃子
文藝賞		1983(S58)	応為坦坦録	山本昌代
谷崎潤一郎賞		1984(S59)	群棲	黒井千次
			この国の空	高井有一
吉川英治文学賞		1986(S61)	腹鼓記・不忠臣蔵	井上ひさし
			白き瓶	藤沢周平
大宅壮一 ノンフィクション賞	ノンフィクション作品を表彰する文学賞	1989(H1)	ストロベリー・ロード	石川好
			チャイコフスキー・コンクール	中村紘子
泉鏡花文学賞		1992(H4)	彼岸先生	島田雅彦
			駆ける少年	鷲沢萌
大佛次郎賞		1993(H5)	昭和史	中村隆英
			免疫の意味論	多田富雄
川端康成文学賞	短編小説に贈られる文学賞	1993(H5)	犬(影について・その一)	司修
すばる文学賞		1996(H8)	いちげんさん	デビット・ゾベティ
講談社ノンフィクション賞		1998(H10)	無敵のハンディキャップ	北島行徳
			段ボールハウスで見る夢	中村智志

日本SF大賞	1999(H11)	チグリスとユーフラテス	新井素子
横溝正史ミステリ大賞	2000(H12)	DZ ディーズィー 葬列	小笠原慧 小川勝己
太宰治賞	2004(H16)	指の音楽	志賀泉
山本周五郎賞	2006(H18)	中庭の出来事 夜は短し歩けよ乙女	恩田陸 森見登美彦
柴田錬三郎賞	2007(H19)	家日和	奥田英朗
小説すばる新人賞 公募新人文学賞	2007(H19)	桃山ビート・ドライブ	天野純希
三島由紀夫賞	2007(H19)	1000の小説とバックヘアード	佐藤友哉

土や自然と関わりながら生きる人間探求の文学作品に対する文学賞→農民文学賞

## ●外国の文学書

ノーベル文学賞	作家の作品、活動の全体に対して与えられる	1920(T9)	土の恵み	クヌート・ハムスン
ブッカー賞	世界的に権威のあるイギリスの長編小説に与えられる文学賞	1988(S63)	オスカーとルシンダ	ピーター・ケアリー 宮木陽子(訳)
チルドレンズ・ブック賞	子どもたちの投票によって選ばれる賞	2004(H16)	うきうきしたら	ジェズ・オールバラ たがきょうこ(訳)
			ジュディー・モード、未来をうらなう!	メーガン・マクドナルド(文) 宮坂宏美(訳) ピーター・レイノルズ(絵)
			兵士ピースフル	マイケル・モーパージュ 佐藤見果夢(訳)
アガサ賞	ミステリの文学賞	2007(H19)	スリー・パインズ村と運命の女神	ルイーザ・ペニー

## ●詩集・俳句・短歌

迢空賞	短歌界では最も権威ある賞	1986(S61)	葡萄唐草	馬場あき子
高見順賞	優れた詩人に贈られる文学賞	1990(H2)	フレヴリィ・ヒツポウタムスの唄	岩成達也
斉藤茂吉短歌文学賞		2008(H20)	歌集 母系	河野裕子

俳句界では最も権威ある賞→蛇笏賞

現代詩の芥川賞→H氏賞

## ●学術

講談社科学出版賞		2004(H16)	時間の分子生物学	糸和彦
和辻哲郎文化賞	学術賞	2007(H19)	芸者論一神々に扮することを忘れた日本人	岩下尚史
			パースの宇宙論	伊藤邦武

## ●いろいろなジャンル

日本エッセイスト・クラブ賞		1972(S47)	地図のたのしみ	堀淳一
木村伊兵衛写真賞	写真界の芥川賞	1994(H6)	世界昆虫記・里山物語	今森光彦
潮賞	ルポルタージュ・ドキュメンタリー・体験記・紀行文など	2001(H13)	不思議の薬 サリドマイドの話	鳩飼きい子
土門拳賞	写真賞	2001(H13)	ベトナム凜と	大石芳野

脚本家への賞→向田邦子賞 新人劇作家の登竜門「演劇界の芥川賞」→岸田國土戯曲賞  
東洋音楽学・民族音楽学の分野における最も権威のある研究業績に対する賞→田邊尚雄賞

## 区立図書館の自慢話

### 区民参加の懇談会で検討されて建設

平和台図書館

平和台図書館は、練馬図書館、石神井図書館に次いで練馬区で3番目の図書館として昭和51年に開館しました。建設にあたっては区民参加の懇談会で設計が検討され、車椅子のまま本が選べるように書架間隔を広くとるなど、障害のある方にも利用しやすいように配慮されました。

当館の特色は、読書席が66席と多いことと読書案内として児童書の展示コーナーを設けてあることです。建築後36年を経過し、さすがにリニューアルが待ち遠しい状況となりました。地下鉄有楽町線平和台駅、東武東上線東武練馬駅のいずれからも徒歩で15分かかる場所ではありますが、地域に密着した図書館として多くの皆様にご利用いただいています。



### くらしに役立つふれあいの図書館

大泉図書館

練馬区がジャパンアニメーション発祥の地であることから、大泉図書館では新たに常設の「アニメーション特集コーナー」をつくりました。このコーナーでは、アニメの歴史や制作方法、描き方やアニメ作品などの関連書籍を収集するだけでなく、アニメ映画のパンフレットや記念切手なども併せて展示しています。今後さらにコーナーを充実させていきます。

また、大泉図書館ならではの特色として、2階児童室からそのまま外に出られる屋上庭園があります。晴れた日には緑豊かな庭園のベンチで、ゆったりと読書を楽しめる気持ちのよい憩いの場となっています。

その他にも、地域の皆様がお集まりいただける場所として、AV設備が整った視聴覚室や各種会合にご利用いただける会議室も完備しています。大泉図書館は「くらしに役立つふれあいの図書館」として、地域の皆様のご来館をお待ちしております。



### 美術関連資料を数多く所蔵

貫井図書館

貫井図書館は、昭和60年7月に開館し、今年で27年目を迎えました。1階が図書館、2階、3階が美術館の複合施設です。区立美術館との併設館であることから、美術関連資料を数多く所蔵しています。特に展示会の「図録」の収集においては、2300点を超える「図録コーナー」があり、都内でもめずらしい図書館と自負しています。美術館の特集展示にあわせた「美術コーナー」の他に、各コーナーでは、季節や時のニュースにあわせて毎月さまざまな角度から所蔵資料をご紹介します。今年4月からは、視聴覚室(58席)のプロジェクターや音響設備も拡充されました。西武池袋線中村橋駅から徒歩3分、夜は9時まで開館していますので、仕事帰りの方もぜひご利用ください。

「当館1番の自慢は、この図書館に勤めるスタッフと図書館を支えてくださる利用者の皆様です!」と自信を持って言えるよう、日々精進してまいります。





## 図書館職員おすすめの一冊



### 「災害と妖怪—柳田国男と歩く日本の天変地異」 畑中章宏：著〈垂紀書房〉

柳田国男の「遠野物語」「妖怪談義」「山の人生」といった著作の中から遠野、志木、辻川、そして東京の代田などが舞台となっている妖怪と災害にまつわる話を解説した作品です。

昨年も日本は地震や大雨、台風、洪水などといった自然災害にたびたび襲われましたが、古の時代から日本は多様な自然災害に繰り返し見舞われてきました。

そして自然への恐怖、災害の記憶、大切な人や物を失った悲しみの記憶、また動物供犠や人身御供、せっかく授かった子供でも「道ちがえ」に棄てざるを得なかった悲しい記憶が、河童や座敷童、天狗、海坊主、大鯰、狼、ダイダラ坊などの各種の妖怪を生み出し、人々の間に語り継がれてきました。

災害に翻弄される当時の日本人が、恐怖や悲しみの中、どのように向き合ってきたのかが感じられる一冊です。

練馬図書館 山崎 佳代



### 「ID野球の父」 戸部良也：著〈ベースボールマガジン社〉

この本には「プロ野球に革命を起こした『尾張メモ再発見』という副題が付いています。ID野球といえば、1992年から野村克也氏がヤクルトスワローズ監督として掲げたデータ重視(Import Data)野球のことと思っていました。「何々、尾張メモだって？」と手に取ってパラパラめくってみると、何やら手書きのレポートが目飛び込んできます。1983年の日本シリーズ前にスコアラー尾張久次さんが広岡監督(西武ライオンズ)に提出した読売ジャイアンツの選手についてのレポートです。

今ではプロ野球の世界でスコアラーはなくてはならない存在ですが、尾張さんが南海ホークスで手腕を発揮していた当初はその職名すらありませんでした。スポーツ紙の記者だった尾張さんがプロ野球をかえてゆくさまを丁寧につづってあります。野球好きの方に読んでいただきたい一冊です。

稲荷山図書館 橋本 玲恵



### 練馬区立図書館50周年

### 数字でみる昔と今

今年度、練馬区立図書館は開館から50年の節目の年を迎えます。そこで、過去と現在の図書館の姿を、数字で見比べてみました。

		昭和38年度	平成23年度
区内人口		383,997人 (昭和39年1月1日)	707,903人 (平成24年1月1日)
利用登録者数		2,552人(昭和39年度) (個人貸出登録者数)	255,671人 (平成24年3月31日)
図書資料数		15,596冊 (昭和39年3月31日)	1,660,048冊 (平成24年3月31日)
分類別内訳	0 総記	842	22,032
	1 哲学	639	38,800
	2 歴史・地理	1,809	101,511
	3 社会科学	2,807	139,661
	4 自然科学	1,887	69,490
	5 技術	1,279	94,062
	6 産業	547	30,499
	7 芸術	1,326	117,141
	8 言語	530	17,572
	9 文学	3,930	248,419
地域資料、児童書、文庫など		—	780,861

当時の資料を眺めていたら、「職業別利用者数」というデータを発見。「高校生」がトップで36.9%、続いて「中学生」が18.1%で、全体の半分以上を占めています。

現在は利用者の方の「職業」はデータ上の管理をしていませんが、年齢別の利用登録者数をみると、「中学生」「高校生」にあたる13歳～18歳が全体の9.1%。トップは40歳～49歳で17.6%でした。

資料：練馬区勢概要ほか

## 図書館の活用方法

### 自動貸出機

図書館では、お客様をお待たせする時間を短縮するため自動貸出機を設置しています。操作は簡単ですので、ぜひご利用ください。

※図書以外にはご利用できません。

#### 操作方法

- ①利用カードを置く
- ②本の背を奥にし、バーコードを上に向けて1冊ずつ本を置く
- ③「手続きが終了しました」の表示が出たら本を取る
- ④次の本がある場合は②と③を繰り返す
- ⑤最後に終了のボタンを押してカードを取る
- ⑥レシートを取る

※画面の表示に従い操作します。



光が丘図書館2階 自動貸出機

## 図書館でのマナー

図書館はみんなの財産です。マナーを守って気持ちよく利用しましょう



練馬区公式  
アニメキャラクター ねり丸  
©練馬区

### ☆図書館資料を汚す・濡らす・切り取る・書き込む

資料はみんなのもの、汚損破損が著しい場合は弁償していただきます。

### ☆返却期限を守らない

次に借りたい人が待っています。返却期限はきちんと守りましょう。

### ☆新聞や雑誌を独り占めする

ほかにも読みたい人がいます。譲り合いの気持ちを持ちましょう。

## 図書館からのお知らせ

- 南大泉図書館は平成24年9月4日(火)から平成25年3月8日(金)まで改修工事のため休館しています。隣接する仮設事務所(2月24日(日)まで開設)では、利用登録、図書・CD等の資料の予約、予約資料の貸出し、資料の返却が出来ます。(資料の閲覧は出来ません)
- 練馬区立図書館は平成24年12月21日(金)から平成25年1月4日(金)まで図書館情報システムの入れ換え作業のため、全館休館します。(年末年始の休館を含みます)休館中は練馬区立図書館ホームページもご利用いただけなくなります。ご迷惑をおかけいたします。